

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	福寿会医療看護専門学校
設置者名	医療法人社団福寿会

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・ 通信 制の 場合	実務経験のある 教員等による 授業科目の 単位数	省令で定める 基準単位数	配 置 困 難
看護専門課程 (3年課程)	看護学科 (2026入学)	夜・ 通信	75単位	10単位	
看護専門課程 (3年課程)	看護学科 (2025・2024入学)	夜・ 通信	68単位	9単位	
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

学校窓口（事務室）において閲覧可能。 授業科目の一覧の中で、教員の実務経験に関するチェック欄あり。
--

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-②【(2)-②外部の意見を反映することができる組織への外部人材の複数配置】

※ 様式第2号の2-①に掲げる法人以外の設置者（公益財団法人、公益社団法人、医療法人、社会福祉法人、独立行政法人、個人等）は、この様式を用いること。

学校名	福寿会医療看護専門学校
設置者名	医療法人社団福寿会

1. 大学等の教育について外部人材の意見を反映することができる組織

名称	教育課程編成委員会
役割	実践的かつ専門的な職業教育を実施するために、企業等との連携を通じて必要な情報の把握・分析を行い、教育課程（カリキュラム）の編成（授業科目の開設や授業内容・方法の改善工夫などを含む。）に活かすことを目的にした組織。

2. 外部人材である構成員の一覧表

前職又は現職	任期	備考（学校と関連する経歴等）
（現職） 大学教授	2026.4～2027.3.31	看護業界の動向と職業教育の方向性への知見
（現職） 看護師 所長	2026.4～2027.3.31	看護業界に必要な最新の知識・着実・技能
（現職） 保育士 主任	2026.4～2027.3.31	近隣実習施設と地域社会とのつながり
（備考） 教育課程編成委員とする。		

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	福寿会医療看護専門学校
設置者名	医療法人社団福寿会

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。	
(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)	
【作成について】 各授業科目について、毎年度、年度末の教員会議により授業科目の講義内容について検討し各担当教員が授業概要（シラバス）を作成している。 各授業科目の授業概要（シラバス）は、「授業科目名」、「対象学年」、「開講時期」、「講師名」、「講義時間（単位）」、「科目目標」、「学習内容」、「授業形態」、「使用テキスト」、「評価方法」、に関する事項は全科目共通で記載し、統一された様式で授業概要（シラバス）にて明確に提示している。 【時期について】 翌年度の講義予定（授業概要）は、1月～2月に担当教員が作成し、3月の教務会にて承認されることで正式決定する。作成した授業概要（シラバス）は冊子にまとめ、年度始めの4月に学生へ配付するとともに学校窓口（教務課）にて閲覧可能である。また、教育編成委員・学校評価委員へ配布している。	
授業計画書の公表方法	学校窓口（教務課）にて授業概要（シラバス）冊子での閲覧が可能。
2. 学修意欲の把握、試験やレポートなどの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。	

(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要) 学則において、成績評価、履修、卒業要件について 規定している。 福寿会医療看護専門学校 「学則」 (授業科目の評価及び単位修得の認定) 第 16 条 単位修得の認定は、講義、実習等に必要な時間の出席状況と当該科目の評価により行う。 2. 出席時数が授業時数の 3 分の 2 に達しない者は、その科目について評価を受ける資格を失う。 3. 授業科目の評価は A (80 点以上)、B (70 点から 79 点)、C (60 点から 69 点及び D (60 点未満) とし、C 以上を合格とする。 4. 病気その他やむを得ない理由により試験を受けることのできなかった者又は不合格の者に対しては、追試験又は再試験を行うことができる。 (卒業) 第 22 条 学校長は、第 17 条に定める授業科目の単位修得の認定を受けた者について、学校運営会議の議を経て、卒業を認定する。ただし、欠席日数が出席すべき日数の 3 分の 1 を超える者については、原則として卒業を認めない。 3. 成績評価において、GPA 等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。	
(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要) 履修規程において、教育課程の履修に関する必要事項を定めている。 (授業科目の評価および単位の認定) 第 7 条 評価は、所定の授業が終了した科目について試験により行う。 2 試験は科目の授業最終日に実施する。ただし、複数講師の科目については、講師ごとに行うか若しくは別に定めた日程で行うことがある。 3 試験は原則として 1 科目 1 試験とする。ただし、複数講師の場合はこの限りではない。 4 試験については、筆記試験を原則とし、必要に応じ、口頭試験、レポート、技術試験により行う。 5 筆記試験は原則として、1 試験 45 分とし、口頭試験、レポート、技術試験の時間はその都度講師が決める。 6 試験の評価は、1 科目 100 点満点とし 60 点以上を合格とする。複数講師の場合は担当授業時間数に応じて 100 点中の配点を決め、各試験の合計点 60 点以上を合格とする。 7 1 科目の中で筆記試験と実技試験がある場合、筆記試験・実技試験それぞれ 100 点満点で評価を行い、両試験共に 60 点以上を合格とする。その科目の評価点の配分は担当講師が決定する。 8 教職員会議の議において評価点を審議し、単位認定を行う。 9 学籍簿への評価の記載は、学則第 16 条第 3 項に準じる。	
客観的な指標の算出方法の公表方法	学校窓口（教務課）にて学生便覧（冊子）での閲覧が可能。

4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。	
(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要) 卒業要件については、福寿会医療看護専門学校学則にて規定しており、詳細については、ディプロマ・ポリシーをはじめ、学則便覧に記載している。 ディプロマポリシー (卒業認定) 1. 人々の生命と尊厳を守り、豊かな人間性と高い倫理観を備えている。 2. 対象を身体的・精神的・社会的側面を統合的に理解するとともに、人々の健康と生活を自然的・社会的環境とのダイナミックな相互関係の中で包括的に捉える視点を有している。 3. 科学的根拠に基づき、継続的視点をもって看護を実践する基礎的能力を有している。 4. 多様な場において多職種と連携・協働する能力を有している。 5. 保健・医療・福祉制度を理解し、専門職としての社会的責任を自覚し行動できる基盤を有している。 6. 看護専門職として広い視野を持ち、生涯にわたり自己研鑽を継続できる。 (卒業) 第 22 条 学校長は、第 17 条に定める授業科目の単位修得の認定を受けた者について、学校運営会議の議を経て、卒業を認定する。ただし、欠席日数が出席すべき日数の 3 分の 1 を超える者については、原則として卒業を認めない。	
卒業の認定に関する 方針の公表方法	学校窓口（教務課）にて学生便覧（冊子）での閲覧が可能。

様式第 2 号の 4－②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第 2 号の 4－①を用いること。

学校名	福寿会医療看護専門学校
設置者名	医療法人社団福寿会

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	毎年 6 月下旬に学校窓口（事務室）にて閲覧可能
収支計算書又は損益計算書	同上
財産目録	同上
事業報告書	同上
監事による監査報告（書）	同上

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名		学科名		専門士	高度専門士	
看護		看護専門		看護		○	×	
修業 年限	昼 夜	全課程の修了に必要な総 単位数	開設している授業の種類					
			講義	演習	実習		実験	実技
3 年	昼	111 単位 (2026 年)	88 単位		23 単位		0 時間	0 時間
3 年	昼	102 単位 (2025 年、2024 年)	79 単位		23 単位		0 時間	0 時間
			単位時間／単位					
生徒総定員 数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数		兼任教員 数	総教員数	
120 人		78 人	0 人	8 人		47 人	35 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第 2 号の 3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 1. を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第 2 号の 3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 3. を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第 2 号の 3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 4. を参照
学修支援等

(概要) 各学科学年の担任及び専任教員が随時個別面談を行い、生活状況や学修状況の学修指導等を行っている。国家試験対策では低学年からの模擬試験、補習講義や個別指導など成績向上に向け支援している。			
卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
27 人 (100%)	0 人 (0%)	27 人 (100%)	人 (0%)
（主な就職、業界等）福寿会グループ医療機関（福寿会東京病院）			
(就職指導内容) 法人グループ看護部のチームによる就職説明会、個別相談、職場見学、インターンシップの実施 担任や副校長が随時相談や面談の練習等の就職活動に向けての練習（面接、履歴書の書き方）を実施している。			
(主な学修成果（資格・検定等）) 看護師免許取得・助産師学校受験資格・保健師学校受験資格			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
91 人	6 人	6.5%
(中途退学の主な理由) 進路変更・体調不良等		
(中退防止・中退者支援のための取組) 成績不良者の対応について、担当教員が単位取得状況や出席日数を確認し、規定の欠課日数や不認定単位数に達するか等、そのような可能性が高い状態で保護者へ警告・連絡するとともに来校依頼し学生本人を交えて三者面談を実施している。 通常は出席状況に問題がある学生に対しては三者面談を行い、就学継続意思の確認をとった上で、休学もしくは退学の手続きを行うことになる。 また、成績不良とまではいかない学生で、実習などを目前にして不安による自信喪失を訴える学生に対しては、補習実技講義を行い対応している。 また、・スクールカウンセラーの配置（1回/隔週）を行っている。		

②学校単位の情報

a)「学生納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考（任意記載事項）
看護学科	300,000 円	660,000 円	170,000 円	
修学支援（任意記載事項）				
福寿会グループにおける奨学金制度				

b) 学校評価

自己点検評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 自己評価結果に関しては、学校窓口（事務室）にてどなたでも閲覧することができます。		
第三者評価の基本方針（実施方法・体制） 専修学校における学校評価ガイドラインに準じ、自己点検・自己評価の結果を基に、学校運営の継続的な改善、教育の質的向上、そして社会的要請の的確な反映を図ることを目的とする。 ○評価体制（構成） 関係企業・地域等から広く選任された外部委員で構成する。 外部委員：以下の分野から少なくとも3名以上の外部人材を選任する。 ・学校・教育 ・卒業生・医療従事者 ・地域・福祉 協議事項（評価項目） 委員会では、教育理念・目的・人材育成像・学校運営・教育活動等10項目について評価および協議を行う。 ○実施方法 評価の実施：外部の評価委員のみで客観的な評価・審議を行う。 ・報告と改善：評価内容および講評は、後日書面等にて学校側へ報告される。 ・次年度への反映：学校側は報告された評価結果を真摯に受け止め、次年度以降の学校運営および教育活動の具体的な改善・実践へと繋げる。		
第三者評価の委員		
所属	任期	種別
(現職) 大学 教授	2026.4～2027.3.31	学校・教育
(現職) 看護師 所長	2026.4～2027.3.31	卒業生・医療従事者
(現職) 保育士 主任	2026.4～2027.3.31	地域・福祉
第三者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://fukujukaigr.or.jp/school/disclosure 学校ホームページ 学校自己点検・自己評価で開示。		

(備考)

第三者評価は未実施であり、上記表中の第三者評価に係る各項目は、実施した学校関係者評価に関する情報を記載している。

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)

当校ホームページ <https://fukujukaigr.or.jp/school/>